

令和6年度（2024年度）

# 事業計画

学校法人 日本社会事業大学



# 目 次

## 第1 令和6年度（2024年度）事業計画の基本的考え方

(1)	本年度計画と中期計画	1
(2)	全学的な取り組みと各組織の取り組み	1
(3)	目標設定の考え方とPDCA	1

## 第2 全学的な取り組み

(1)	創立80周年記念事業に向けた取り組み	2
(2)	志願者確保対策の強化（入試改革の促進等）	2
(3)	広報体制の強化	2
(4)	新教務システムの更新	2
(5)	国際協力の推進	2
(6)	学生支援の強化	3
(7)	社会貢献の推進	3
(8)	危機管理体制の見直し	3
(9)	ITガバナンスの構築	3
(10)	コンプライアンス・ハラスメント対策の強化	4
(11)	内部質保証のための取り組み	4
(12)	新型コロナウイルス感染症への対応	4

## 第3 各組織における取り組み

(1)	学長室	4
(2)	社会福祉学部	5
(3)	研究大学院	5
(4)	専門職大学院	6
(5)	通信教育科	7
(6)	社会事業研究所	7
(7)	図書館	8
(8)	子ども学園	8
(9)	法人本部	8

(参 考)

1	設置の場所	1 1
2	学生の修業年限・規模等	1 1
3	授与する学位	1 2
4	教育組織図	1 2
5	主要事業実施日程	1 3
6	令和7年度入学者選抜の実施	1 4
7	令和6年度学長室組織図	1 6

## 第1 令和6年度事業計画の基本的考え方

### (1) 本年度事業計画と中期計画

本年度事業計画は、令和4年度より始まった第4期中期計画における3年目の目標と取り組みを定めるものである

### (2) 全学的な取り組みと各組織の取り組み

本年度事業計画では、中期計画に盛り込まれた内容を全学的に取り組むべき事項と組織ごとに取り組むべき事項に大別し、それぞれ本年度中に実現すべき目標と取り組みを定めている

### (3) 目標設定の考え方とPDCA

上記の目標には、定性的な目標だけでなく、なるべく具体的な内容を盛り込むとともに、その実績は毎年度の事業報告で評価・公表し、次年度以降の事業計画に反映させることによって、中期計画におけるPDCA(Plan Do Check Action)サイクルを完成させることとしている

## 第2 全学的な取り組み

### (1) 創立80周年記念事業に向けた取り組み

令和8年(2026年度)、本学は創立80周年を迎えることから、これを記念した事業を企画、検討・実施するため、準備委員会を設ける

また、これに合わせて公式ホームページに80周年記念サイトを早期に立ち上げるとともに、記念事業のための寄附金募集を行う

### (2) 志願者確保対策の強化(入試改革の促進等)

入試制度改革をさらに進め、総合型選抜入試に続き新たに指定校推薦選抜入試制度を導入するとともに、オープンキャンパスの一層の充実、受験生向け広報活動の強化等を引続き行う

### (3) 広報体制の強化

受験生・保護者を対象にホームページ等を通じ新たな入試区分である総合型選抜、指定校推薦の入試広報を重点的に行うほか、オープンキャンパスの充実、高校訪問、交通広告、いわゆる赤本の制作・頒布などを引続き実施する

また、本学に対する認知度の向上を目指し、高校生や社会人に対し、SNS等による新たな情報発信や積極的な高校進路指導担当教員への働きかけ、同窓会への協力依頼を行うなど、広報活動をさらに強化する

### (4) 教務システムの更新

学内関係者の意見を集約し、新教務システムの調達に必要な仕様書を作成するとともに、企画コンペによって採用した業者を通じ、具体的なシステムの設計・構築に早急に着手する

### (5) 国際協力の推進

現在行っているインドネシア政府との交流事業、ニュー・サウス・ウェールズ大学(豪州)との環太平洋社会福祉セミナー、釜山大学校(韓国)とのスタディーツアーなどを通じて、東南アジアを中心とした海外の関連機関・大学との協力関係の一層の拡大・強化を行う

#### (6) 学生支援策の強化

本年4月から改正「障害者差別解消法」が施行されることなどを踏まえ、障害のある学生の修学支援を行うため、学内に新たな組織を設ける

また、メンタルヘルスの不調に関する学生相談が増加しているため、専門相談員によるケースカンファレンスやスーパービジョンの充実・強化に一層努める

また、コロナ禍の影響により制限されていたサークルやボランティア活動、大学祭等の再開を通じて、学生同士の繋がり、多面的な人間形成の場の活性化を支援する

#### (7) 社会貢献の推進

清瀬市三大学連携事業「清瀬アカデミア」の令和6年度(2024年度)実施に向けた準備を開始するほか、清瀬商工会や地元企業との産学連携を通じて本学の地域におけるプレゼンスの向上を目指す

#### (8) 危機管理体制の見直し

新型コロナウイルスの勃発を含めた各種の想定外のリスクにも対応できるよう、危機管理体制の点検、強化を行う

#### (9) IT ガバナンスの構築

情報化の推進とともに、情報セキュリティを全学的に統治するために CIO (Chief Information Officer:最高情報責任者)や CSIRT(Computer Security Incident Response Team: コンピューターに関するセキュリティ事故対応チーム)の設置などを含めた IT ガバナンスの構築を目指す

(10) コンプライアンス・ハラスメント対策の強化

対面型のハラスメント研修の実施のほか、リーフレット配布等を通じたハラスメント相談員の周知などに一層努める

(11) 内部質保証のための取り組み

引き続き、自己点検・評価委員会において、毎年度自己点検・評価を実施し、報告書を取りまとめ、公表することにより、内部質保証のための PDCA サイクルの継続性を担保する

(12) 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の「第5類」への変更以降の諸事情を勘案し、「新型コロナウイルス感染症対策本部」の活動は一時休止する

### 第3 各組織における取り組み

(1) 学長室

① 社会福祉研修センターにおいては、国の制度改正の動向、受講生のニーズの変化を踏まえ、講師陣の一層の充実などを通じオンライン・オンデマンド研修をより魅力的なものとするとともに、受講生の新規開拓に努める

② 未来ビジョン推進センターでは、DX 時代における本学の未来ビジョンを策定するために、福祉分野のデジタル化に対応した教育研究のあり方を検討する

また、リカレント教育推進のための体制整備事業、福祉キャリア支援センター事業等の具体的展開について、DX 時代に即した方向で再検討する

③ 多心型福祉連携センターにおいては、多様な主体が対等の立場で自発的に連携し協力、補完し合いながら地域社会が抱える福祉問題を解決しようとする取り組みのあり方を研究するという目的に沿って、全社協・浴風会・済生会等の機関との連携を深めつつ、清瀬市など近隣自治体とともに「環境・災害と福

社の「予防的支援」に関するワークショップを企画・実施する

農林水産省の都市農業支援事業交付金の活用を見据え、農福連携の新たな活動を検討する

## (2) 社会福祉学部

- ① 学部教授会に「関係委員会等」を設置し、学科体制、資格課程、カリキュラムなどの在り方について抜本的な見直しを行う
- ② 国立看護大学校、明治薬科大学と本学の「三大学包括連携協定」に基づき実施するサマースクールに則し、新設科目「多職種協働(仮称)」を設置する
- ③ 新カリキュラムの実施に対応し、新たな国家試験対策を実施する。

とりわけ合否境界線上の学生については、模試結果をもとにゼミ教員と連携して積極的にアウトリーチ支援に取り組む

- ④ 早期からの就活準備対策を強化するため、就職相談をより積極的に受け入れるとともに、求人票やインターンシップ情報を円滑に提供でき、ガイダンスや就活履歴等をクラウド上で一括管理できるマルチタスク処理能力に優れた就職支援システムの導入を検討する
- ⑤ 引き続き適性に合った進路・就職相談の充実を図るとともに、公務員志望者に対しては体系的な指導体制のもと試験対策や模擬面接等の充実を図っていく
- ⑥ また、学生の主体的な学習と対話を通じた学び合いを促進するため、ラーニングコモンズの設置について検討する

## (3) 研究大学院

- ① EBPM(Evidence Based Policy Making)に資するため、福祉プログラム評価履修コースをより充実することを検討する

質的・量的調査法・分析法の重点を置いたカリキュラムの拡充を図るととも

に、必要な統計・分析ソフトなども整備して、より魅力あるカリキュラムに再編成するための見直しを行う

- ② 引き続き遠隔地から入学した大学院生、仕事と両立を図る大学院生向けにオンラインを活用した教育の拡充を図る

また、他大学との単位互換の拡大を検討するとともに、本学専門職大学院との連携の強化を図る

- ③ 大学院研究科と社会事業研究所との更なる協働を図る
- ④ 令和7年度(2025年度)入試から新たに外国人留学生入試枠を設ける
- ⑤ 引き続き本学学部生への情報提供に努めるほか、学部と大学院との連携プログラムを企画し、入学者数の増大を図る

#### (4) 専門職大学院

- ① 同時双方向型オンライン授業や入試説明会等の学事に支障のないよう、文京校舎の関係機器の定期的な点検を行うとともに教室の機材整備を進める
- ② 現行の教務システムの課題を洗い出し、新教務システム導入に合わせて改善を図る
- ③ 引き続きリカレント講座及び福祉実践フォーラムを開催するとともに、より魅力的な「指導的立場にある実践者の学びの共同体」をつくっていくために、本学専門職大学院を広く周知し、入学志願者の確保に努める。

また、福祉系専門職大学院のネットワークを構築するとともに、他の研究大学院との学問的差別化を図るため、本専門職大学院独自の特色ある学問の体系化を目指す

- ④ 引き続き、教員の派遣等を通じて学長室社会福祉研修センターとの連携に努める。

また、地元自治体等地域社会への貢献・協力の拡充を図る

⑤ 令和6年度(2024年度)の福祉実践フォーラムの実施に併せて、専門職大学院創設20周年記念事業の寄附金募集による記念誌を発行し、20周年を機に修了生のネットワークの更なる強化、活性化を図る

(5) 通信教育科

- ① 今後の社会のニーズや、社会情勢を勘案しつつ、各課程の定員等の見直しを引き続き検討していく
- ② 学部・大学院との連携を維持し、キャリアアップをイメージしやすい広報を展開することにより、本学独自の魅力ある通信教育システムをアピールするとともに、引き続き所要のカリキュラム見直しを行う
- ③ 国家試験合格率の向上、効果的な広報活動の実施、出願書類不備による不合格件数の減少等により、各養成課程の入学者の確保に努める
- ④ 在学生および修了者への通信総合案内等の広報により、他資格取得のための再入学や大学院への進学を促し、在学生等のキャリアアップを支援していく

(6) 社会事業研究所

- ① 学内共同研究事業や国内外との研究交流活動を推進し、研究成果を社大福祉フォーラム等で公表する
- ② 院生個々の研究活動に対する外部助成金(日本学術振興会特別研究員等)の獲得に向けて、「学生研究活動補助金制度」により支援する
- ③ 文部科学省や厚生労働省の科学研究費補助金、生協協同組合等民間団体からの外部資金の獲得に一層努める
- ④ 本学の研究倫理規範及び関連規程に基づき、コンプライアンスの遵守、研究倫理の向上に努める
- ⑤ 国際・アジア福祉研究教育センターを拠点とする国際交流事業(環太平洋社会福祉セミナー・海外スタディーツアー等)を通じ、海外研究者(交流協定校)と

の研究交流、最先端の研究成果の共有を図る

## (7) 図書館

以下の計画に従って図書館 ICT 化を進める

①-1 自習室、グループ学習室を仕切り、一部のスペースを個室ブースとして利用できるように検討する。また、個人情報の安全を確保しつつ、学生が自由に印刷可能な複合機の導入と連携するシステムの構築を検討する

①-2 卒業論文検索データベースの機器等の現状を踏まえ、代替システムを速やかに導入し、現システムとの併用によりサービスを継続しつつ、新たなデータベースの構築に向けた検討を始める。

また、卒業論文等のデジタル化への移行についての課題点を整理し、所管部局との調整を図る

② 所蔵スペースの確保に向けて、さらに資料の精査を行い、整理作業を進める

## (8) 子ども学園

令和6年度(2024年度)は3年に一度の第三者評価受審の年にあたるとともに、東京都による指定の有効期限を迎えることから、指定障害福祉サービス事業所として、適正かつ質の高いサービス提供体制を整え、定員確保による事業運営・財政運営の安定化に一層努める

## (9) 法人本部

### ①法人運営

- ・ 令和8年(2026年度)に本学創立80周年を迎えることから、記念式典やシンポジウムの開催、80年史の作成、大学ロゴの作成などの記念事業の企画、検討を行うための準備委員会を立ち上げる
- ・ 公式ホームページに80周年記念サイトを早期に立ち上げるとともに、記念行事のための寄附金の募集を行う

- ・ 公式ホームページについてはメインビジュアルをリニューアルし、本学学生のキャンパスライフをリアルに伝える内容に更新するほか、本学教員の研究シーズを紹介するコンテンツの作成、福祉のリーダーとして活躍し社会に貢献している卒業生を紹介する「灯し、紡ぐ人」コンテンツ等の拡充を図るなど、本学の魅力をより一層伝える内容とする
- ・ 職員の資質の向上を図るため、Webセミナーを活用するなど研修制度の一層の充実等に努める
- ・ 令和6年度(2024年度)から教育職員について裁量労働制を採用する(予定)

## ②財政運営

- ・ 近年の入学者数の減少に伴い、学生納付金収入の減が顕著になっていることから、令和6年度(2024年度)収支予算は更に厳しい財務状況になる見込みとなるため、業務の横断的な見直しに取り組むとともに、業務改善、効率化を強力に推進し、人件費、教育研究経費の抑制に取り組む
- ・ 卒業生等からの寄附金、遺贈を含め、民間団体からの助成金等の外部資金の安定的確保に向けて、継続寄附の導入やクラウドファンディング等の方策の活用に取り組む

## ③施設整備

- ・ 令和6年度(2024年度)においては、教学A棟・研究棟の外壁及び屋上防水改修工事を実施する予定(令和5年度(2023年度)補正予算で約5億円が計上)
- ・ また、本学の清瀬移転から約35年が経過し、各施設・設備の経年劣化が顕著なことから、その整備に係る中長期修繕計画の策定のための実地調査を実施予定(令和5年度(2023年度)補正予算で、5,800万円を予算措置)
- ・ 今後、本学の施設整備は、この整備計画により実施されることになり、具体的には安全面で緊急性の高い施設・設備、劣化の著しい冷暖房施設、遅れているIT化関連の施設・設備、老朽化した教室設備、国際交流施設の新設、学生

寮などに重点を置いた施設・設備整備を国に要望していくこととする

## ( 参 考 )

### 1 設置の場所

所在地	設置する学校等
東京都清瀬市竹丘三丁目1番30号	[清瀬キャンパス] 大学、大学院、通信教育科、社会事業研究所、附属図書館
東京都清瀬市梅園一丁目2番50号	附属実習施設子ども学園、寄宿舎（学生寮「松窓寮」）
東京都小平市花小金井四丁目39番10号	宿泊施設（招聘研究者用）
東京都文京区小石川五丁目10番12号	[文京キャンパス] 大学院（専門職）、各種講座

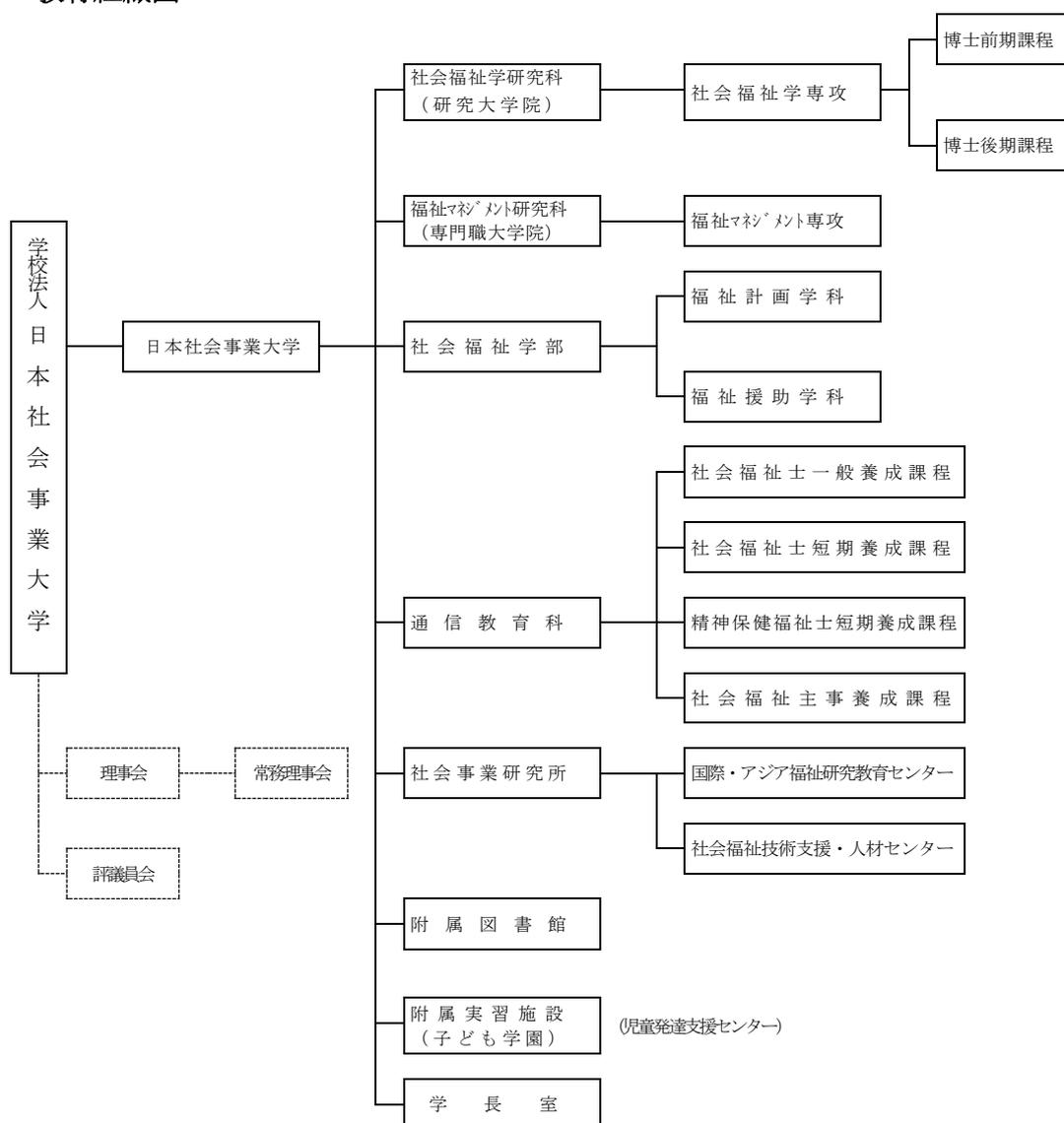
### 2 学生の修学年限・規模等

区分	学部・学科等		入学定員	修業年限	摘要
大学	社会福祉学部	福祉計画学科	1年次入学	55人	4年
			3年次編入学	10人	2年
	福祉援助学科	1年次入学	105人	4年	
		3年次編入学	10人	2年	
大学院	福祉マネジメント研究科 (専門職大学院)	専門職学位課程	50人	1年	※長期履修生は2年
		社会福祉学研究科 (研究大学院)	博士前期課程	15人	2年
	博士後期課程		5人	3年	
計（通学制）			入学定員：250人（収容定員：775人）		
通信教育科	社会福祉士一般養成課程		360人	1年6ヶ月	
	社会福祉士短期養成課程		140人	9ヶ月	
	精神保健福祉士短期養成課程		150人	9ヶ月	
	社会福祉主事養成課程		500人	1年	
計（通信制）			入学定員：1,150人		

### 3 授与する学位

大学	社会福祉学部	学士（社会福祉学）	
大学院	福祉マネジメント研究科（専門職大学院）	福祉マネジメント修士（専門職）	
	社会福祉学研究科 （研究大学院）	博士前期課程	修士（社会福祉学）
		博士後期課程	博士（社会福祉学）

### 4 教育組織図



## 5 主要事業実施日程

日 程	事 業 事 項
令和6年 4月 3日 (水)	入学式 (学部・大学院)
(2024年) 4月 6日 (土)	子ども学園入園式
5月 17日 (金)	法人監査
5月 27日 (月)	評議員会、理事会 (事業報告・収支決算)
6月 22日 (土) ・ 23日 (日)	第61回社会福祉研究大会 (学内学会)
9月 26日 (木)	9月卒業式・学位授与式 (学部・大学院)
10月 3日 (木)	総合型選抜 第1次選考
10月 3日 (木)	全学防災・避難訓練
10月 5日 (土)	大学院博士前期課程第Ⅰ期入学試験
10月 19日 (土)	総合型選抜 第2次選考
10月 26日 (土) 27日 (日)	大学祭
11月 2日 (土)	私費留学生選抜・3年次編入学選抜
11月 9日 (土)	創立記念日
11月 16日 (土)	学校推薦型選抜・指定校推薦
12月 1日 (日)	専門職大学院第Ⅰ期入学試験
令和7年 1月 18日 (土) ・ 19日 (日)	大学入学共通テスト (会場：明治薬科大学)
(2025年) 1月 26日 (日)	専門職大学院第Ⅱ期入学試験
1月 26日 (日)	第37回介護福祉士国家試験
2月 1日 (土)	一般選抜 (前期日程)
2月 1日 (土)	第27回精神保健福祉士国家試験
2月 2日 (日)	第37回社会福祉士国家試験
2月 13日 (木)	大学院博士前期課程第Ⅱ期入学試験
2月 14日 (金)	大学院博士後期課程入学試験
2月 22日 (土)	一般選抜 (後期日程)
3月 1日 (土)	専門職大学院第Ⅲ期入学試験
3月 9日 (日)	専門職大学院第Ⅳ期入学試験
3月 14日 (金)	卒業式・学位授与式 (学部・大学院)
3月 20日 (木)	子ども学園卒園式
3月 下旬	評議員会、理事会 (事業計画・収支予算)

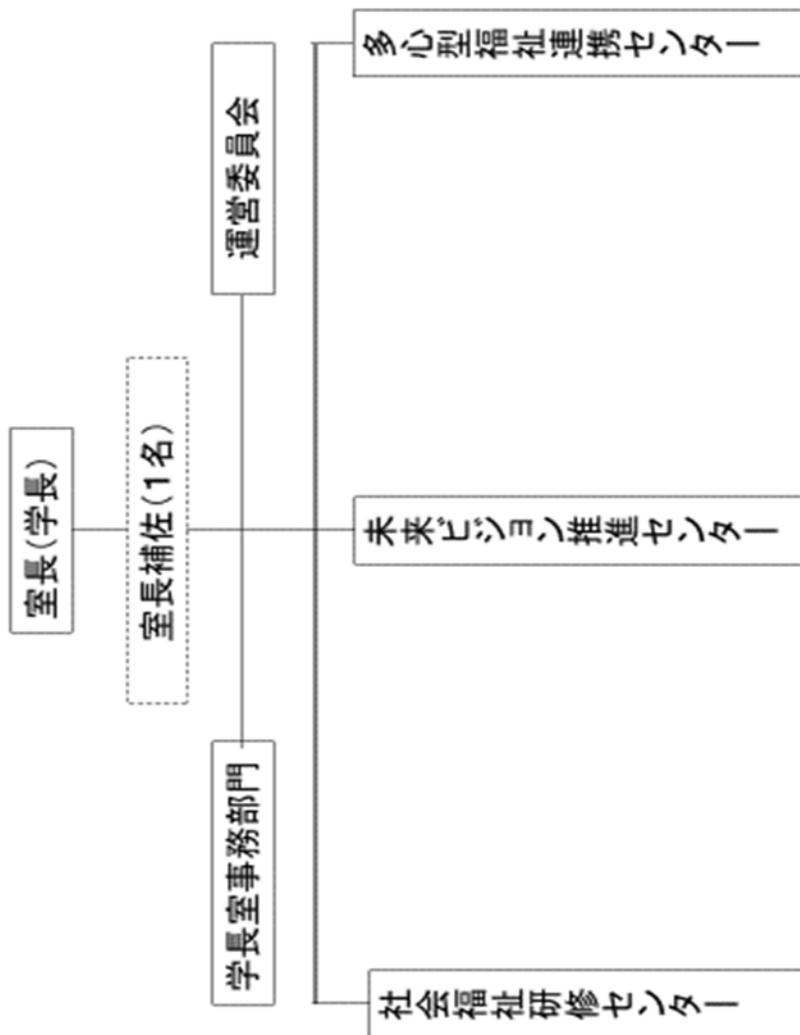
## 6 令和7年度入学者選抜の実施

項目		募集人員		試験日	出願期間		合格発表日	入学手続期間		
		福祉計画 学科	福祉援助 学科		自	至		自	至	
社会福祉学部	総合型選抜	9名	16名	10月3日(※) 10月19日(土)	9月13日(金)	9月24日(火)	10月11日(※) 11月1日(※)	11月1日(金)	11月11日(月)	
	私費留学生選抜	若干名		11月2日(土)	10月1日(火)	10月11日(金)	11月13日(水)	11月13日(木)	11月22日(金)	
	学校推薦型選抜	公募推薦	20名	40名	11月16日(土)	11月1日(金)	11月11日(月)	12月2日(月)	12月2日(月)	12月10日(火)
		指定校推薦								
	一般選抜	前期日程	15名	30名	2月1日(土)	1月6日(月)	1月24日(金)	2月7日(金)	2月7日(金)	2月21日(金)
		後期日程	4名	6名	2月22日(土)	2月3日(月)	2月13日(木)	2月27日(木)	2月27日(木)	3月6日(木)
	大学入学共通テスト選抜	7名	13名	-	-	1月6日(月)	1月24日(金)	2月10日(月)	2月10日(月)	2月21日(金)
合計	55名	105名								

項目			募集人員	試験日	出願期間		合格発表日	入学手続期間	
					自	至		自	至
大学院	社会福祉学 研究科	前期第Ⅰ期	15名	10月5日(土)	9月9日(月)	9月20日(金)	10月16日(水)	10月16日(水)	10月25日(金)
		前期第Ⅱ期		2月13日(木)	12月23日(月)	1月10日(金)	2月26日(水)	2月26日(水)	3月7日(金)
		後期課程		2月14日(金)	12月23日(月)	1月10日(金)	2月26日(水)	2月26日(水)	3月7日(金)
専門職 大学院	福祉マネジメント 研究科	第Ⅰ期	50名	12月1日(日)	11月1日(金)	11月15日(金)	12月11日(水)	12月11日(水)	12月20日(金)
		第Ⅱ期		1月26日(日)	12月16日(月)	1月6日(月)	1月31日(金)	1月31日(金)	2月10日(月)
		第Ⅲ期		3月1日(土)	2月3日(月)	2月14日(金)	3月5日(水)	3月5日(水)	3月14日(金)
		第Ⅳ期		3月9日(日)	2月17日(月)	2月28日(金)	3月9日(日)	3月10日(月)	3月14日(金)

項目			募集人員	出願期間		合格発表日	入学手続期間	
				自	至		自	至
通信教育科	社会福祉士一般養成課程	第1期	360名	10月1日(火)	12月3日(火)	1月15日(水)	1月15日(水)	1月29日(水)
		第2期		12月5日(木)	1月27日(月)	2月19日(水)	2月19日(水)	3月4日(火)
		第3期		1月28日(火)	2月21日(金)	3月10日(月)	3月10日(月)	3月19日(水)
	社会福祉士短期養成課程	第1期	140名	10月1日(火)	12月3日(火)	1月15日(水)	1月15日(水)	1月29日(水)
		第2期		12月5日(木)	1月27日(月)	2月19日(水)	2月19日(水)	3月4日(火)
		第3期		1月28日(火)	2月21日(金)	3月10日(月)	3月10日(月)	3月19日(水)
	精神保健福祉士短期養成課程	第1期	150名	10月1日(火)	12月3日(火)	1月15日(水)	1月15日(水)	1月29日(水)
		第2期		12月5日(木)	1月27日(月)	2月19日(水)	2月19日(水)	3月4日(火)
		第3期		1月28日(火)	2月21日(金)	3月10日(月)	3月10日(月)	3月19日(水)
	社会福祉主事養成課程	第1期	500名	10月1日(火)	12月3日(火)	1月15日(水)	1月15日(水)	1月29日(水)
		第2期		12月5日(木)	1月27日(月)	2月19日(水)	2月19日(水)	3月4日(火)
		第3期		1月28日(火)	2月21日(金)	3月10日(月)	3月10日(月)	3月19日(水)

## 令和6年度学長室組織概念図



※学長室組織体制等については、別紙のとおりとする。